

10アール当たり4.8俵計19トン

タニシ被害で1等6割占める 目標下回る

無農薬・無肥料のコメ 初年度収穫量

依=60%)と目標の8依を下回ったが、等級検査で最高位の1等米が6割を占め「品質は上々」(同実行委)。酒などの加工品とともに、NPO会員を中心に近く販売を始める。

無農薬・無肥料によるコメの生産と普及を進めるNPO法人「岡山県木村式自然栽培実行委員会」(倉敷市白葉町)は、初年度の栽培結果をまとめた。ジャンボタニシの被害などで、収穫量は10アール当たり4.8俵(1

岡山県木村式自然栽培実行委まとめ

ズーム

岡山県木村式自然栽培実行委員会 倉敷、総社市の生産者や流通、食品加工業者ら約20人が、不可能といわれた無農薬・無肥料でのリンゴ作りで成功した木村秋則さんの自然栽培に賛同し、昨年12月に設立。今年8月、NPO法人に移行した。



無農薬・無肥料で育てた稲(右)と通常の稲。無肥料の稲は質分を求めて味が発達し、収穫直前でも緑が青々としている。10月、倉敷市

倉敷、総社市などの30戸が今年、計8・35畝と最大の倉敷市福田地区でタニシの被害が深刻化し、平均を押し下げた。来年は、団子状に丸めた米ぬかなどで19・2トンを収穫した。農家ごとの収穫量は10アール当たりおおむね7

3俵。作付面積が約5畝と最大の倉敷市福田地区でタニシの被害が深刻化し、平均を押し下げた。来年は、団子状に丸めた米ぬかなどで19・2トンを収穫した。農家ごとの収穫量は10アール当たりおおむね7

コメや、もちなどの加工品に貼る木村式自然栽培米の認証マーク



1俵1.6万円に引き上げ

11年度買い取り価格 生産拡大へ実行委

自然栽培実行委は2011年度の買い取り価格を引き上げる方針を決めた。価格は1俵1万6千円と本年産より千円を上積みする。ただ、10アール当たり9万円の農家所得の最低保証は廃止し、栽培努力を促す。

生産者を募る一環として農協グループと連携し、今年18日の岡山県南区藤田地区を皮切りに、倉敷、笠岡市などで栽培説明会を実施。千戸を目標に、参加を呼び掛ける。

たり6〜7俵はどれ「包装材に貼って流通させるとみています。収穫したコメは、白170人に、試食用3

自然栽培を提唱している青森県のリンゴ農家・木村秋則さんの顔写真が入った認証マークを、証マークを(倉敷市連島町連島)などが約3トンを店頭販売する。(森元俊一朗)

動に賛同する三好野本店(岡山市北区泉前町)が来月1月、東京の百貨店のイベントに自然栽培米を使ったすしを出品してPRする。県内でも、ご飯と酒の試食・試飲会を開く。

実行委の高橋啓一理事長は「香川、愛媛、徳島県にも自然栽培の動きが広がっており、普及活動を一層促進し、岡山から、農業の革命を起したい」と話している。(森元俊一朗)



奇跡のりんごの木村秋則氏